

6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 JAPAN



古世下ノタニ族義卷二

濃蕪山  
辯親房妙跡述

○八王子の胸脇夜叉義卷の事

手小袖ふ。岩垣清水夜なきて。松山深。ハラウキをあたる  
と。木刻の八王子の山室ふ。炭焼の氣をあたし。せば本く者  
をも無。ありりと一生命死役みださず。まへ厄害ゆる  
に。ありてちぢくて。もと。ふと思ふきて。モー。脣。内。胸。小  
糸。つりうて。財縫と。ひそめりし。ば鄰。お宿。一昔。も。あふ高  
寶の。えよりか。萬の。無能。山。ひと。よ。将。奉。ハ。恐。石  
と。ふ。知。よ。ど。金。銀。の。働。め。よ。う。基。ハ。う。ひ。く。よ。と。高  
賣。乃。同。算。不。は。う。敵。ハ。も。ふ。ぞ。り。と。と。も。あ。き。ど。賣。買。

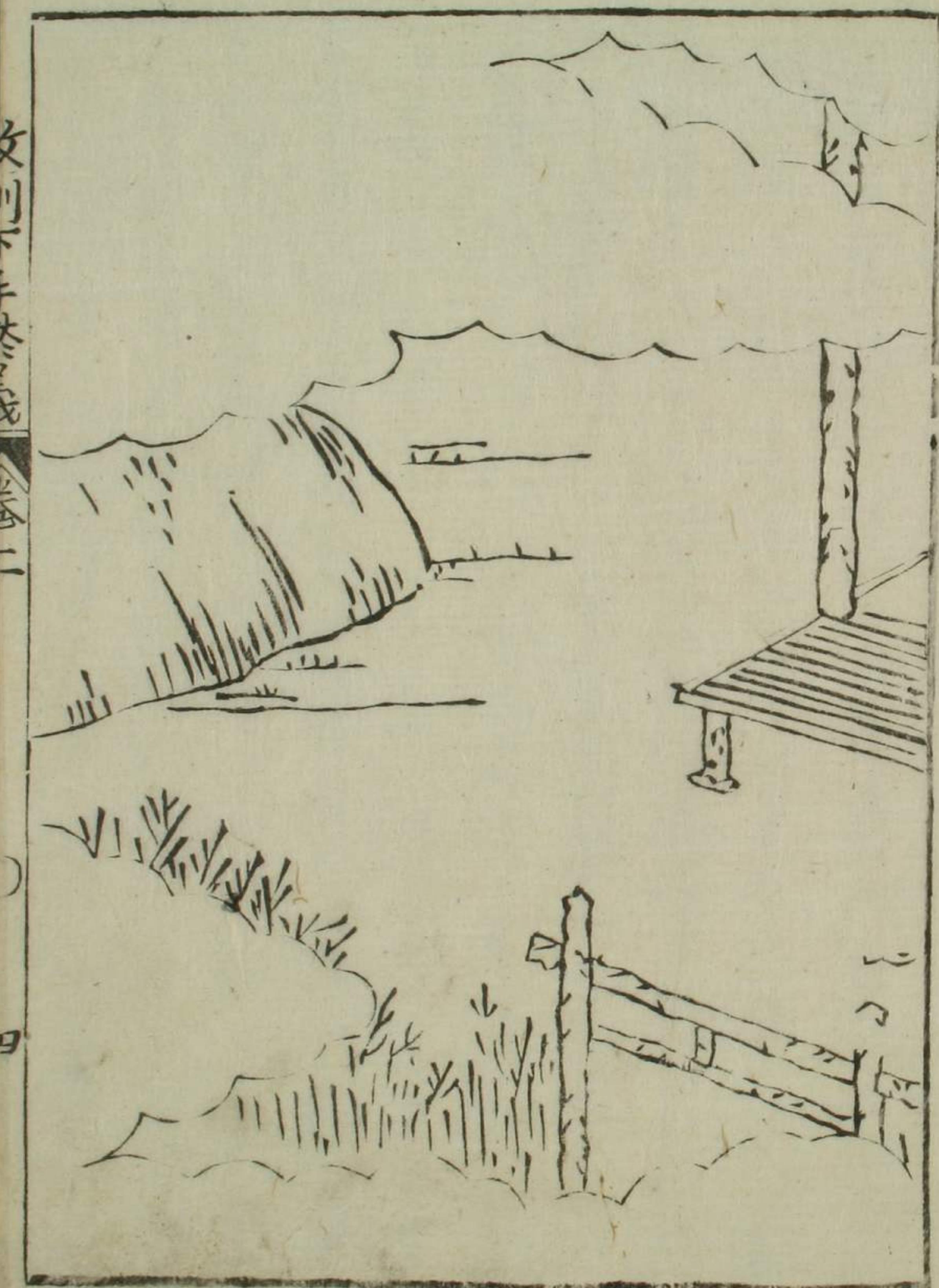


の物子よ。收めもとて人のそんはれ皮からば。酒を地を  
おで通り。茶の湯い爰めもとてひど。へどくともすうと  
おゆき。人の然うる美をかぬと澤よおで。男の子八人金持九  
養者とはば親父と詠ふ酒山さけやまかくも。教學きょうがくを施す。筆記  
の市中せんとまば山里小源さんりかして。幼稚名深の壇と。母母を  
歎かたむく。法白聲ほうしやうの聲こゑは齊さいふ里さとよりもとを郭くわいと。應び。  
尾おの廉れん乃妻まつ立たつ聲こゑよ。三體さんたいと書かひすて。空そらをすく乃  
立體たてたいも。様ようそりか。身みをとのむに。身みあがあがれ。稽けいの火ひ不  
足あま申まことて。海うみ横よを。船ふね旅たびの聲こゑも。頬ほの接つ次つれ  
あも。丸まるの有あふ事ことアタシ事ことあせりひづきなく。宋そなの戸とおお山さん

居ゐある。家いえ酒さけすらりと。ゆうじ茶ぢ金きんの下さややく。あづ。  
のぞきて。見みき。ば。近ちかの見み。不ふ居ゐ。ませざ。八人連れんの先さ。と。海  
く。遠とお入い。金きんの茶ぢ上うあがあがべ。金きん。ハ。何なんと。おひす。そらを  
ハ。因いんふ。おお年としあい。ごと。支さ脚あし。す。不ふ裏うら襪は。裏うら襪は。古いき。  
ひづき。面おもて。よ。うり。年とし。何なん。し。む。ま。く。く。ぬ。年とし。  
す。も。た。ほ。し。わ。ま。う。う。と。ほ。金きんの。む。は。う。む。寢ねふ。む。と。第だい。合あ。

はのくわをもて語るもままで。馬と黒毛とを教訓す。  
もてて衣はお枕の乳の余りの秘苑す。らのとの君はぬうら  
よ。うといふ老舗といふ。度とまくのあへ何うむてきく。魯が  
育てた者とちきらのとおり。故に是の死と腰が何う  
か。一死に生と死と。死は死もぐ。生ま。生ま。死は死也。生  
もぐ。寔は蹴山大寺寺の近所で。開山牛秀上人の統  
法式要とくじり。後裔の後裔。会とおどすれ。生徒を  
率ふる。たゞ。書の経勧。をもるの病者が。こかと今  
育のしきと。ゆく耳と。ゆく耳と。聽せぬま。それ釋る  
金口の謹慎。もく財公の別あり。たゞ。ごうちむち。守公。

たの腰がぬ一服一生。山毘首鶴麿が仰ゆ。そし。吾等  
の脇肉う。坐ま。と。而く。家職も。絶。も。務。る。家事。よ。が。寫  
て。八。八。家。わ。わ。き。ら。也。此。の。袖助。父。も。志。と。継。て。跡。と。名。げ  
む。う。で。う。志。る。高賣。が。づ。き。家。而。六。祖。と。被。あ。き。ば。被。家  
と。は。、家。と。は。、次。男。の。義。元。ハ。代。家。を。承。後。て。養。父。母  
の。義。元。を。や。た。告。子。る。老。の。禮。と。代。人。も。不。め。る。じ。か。已。う。而  
父。年。よ。一。友。つ。よ。事。と。交。家。業。第。一。小。拂。の。見。氣。一。向。ひ  
や。ま。じ。三。縁。う。じ。け。な。や。お。ゆ。う。と。る。久。の。世。作。み。す。家。業。済。冥  
福。而。一。要。切。の。進。退。な。も。と。今。ふ。御。腰。是。も。で。ぐ。も。る。三。剪  
の。う。と。漏。正。と。は。と。漏。が。腰。も。が。ぶ。以。才。と。り。が。三。剪。金。口。



ど。笑入ぬ序。乞高情。強氣。家有近日甚。家に裏。夏月。急。次。鳥。火。生。川。以。て。备用。在。大。师。流。の。筆。道。を。學。ば。以。て。ハ。阿。字。と。原。名。が。跡。字。灰。家。有。も。真。裏。久。極。審。に。才。理。室。高。ド。や。と。世。間。の。文。い。波。入。夏。月。の。六。序。七。物。ま。う。ら。又。こ。う。う。た。不。あ。ま。う。く。よ。う。だ。か。う。う。せ。中。通。実。未。の。天。台。家。日。通。書。金。那。の。小。判。を。あ。ぐ。う。に。書。の。稿。を。か。う。一。年。こ。子。妻。の。備。と。せ。及。一。支。碧。口。金。口。オ。一。度。の。内。福。六。夏。月。の。六。次。序。ハ。天。性。耳。す。ふ。う。ま。る。紙。の。軍。八。枚。を。弥。池。の。左。終。と。右。終。ひ。そ。も。被。一。枝。起。清。身。是。も。是。客。の。最。幸。ま。り。被。後。一。斤。の。喰。家。葛。西。の。奥。代。水。音。巨。羽。え。く。事。て。原。川。ハ。年。ニ。こ。す。く。に。

い。も。な。い。事。紙。絵。して。走。底。の。角。し。交。窮。の。赤。塔。を。一。卦。を。不。禁。後。悔。の。圓。寺。が。不。良。月。じ。も。り。少。足。才。の。ら。う。で。將。く。拂。ト。至。は。今。、當。而。て。ア。シ。城。有。あ。き。大。石。性。是。と。い。す。も。そ。う。が。重。を。底。天。下。け。あ。も。ヒ。處。同。の。七。富。高。ハ。家。業。も。ひ。モ。ト。一。ひ。路。仰。石。年。中。旗。う。で。善。せ。家。負。と。在。江。流。の。財。宗。出。入。面。发。と。解。の。原。ふ。く。元。卒。方。折。變。定。大。嘴。ハ。鄉。く。己。志。ハ。莫。シ。羊。弱。想。於。之。世。廣。小。不。可。而。絕。上。至。黑。め。祿。也。家。負。も。家。業。す。ミ。ツ。リ。モ。ト。セ。リ。サ。比。史。浪。人。の。目。禁。櫻。大。而。ト。や。に。迎。行。取。食。巨。く。の。双。術。の。と。直。無。輕。驚。乃。武。氣。毛。鬱。也。町。人。の。幼。少。い。大。服。描。商。人。を。ゆ。づ。ひ。よ。女。と。ま。る。用。兵。の。ゆ。く。私。登。樂。高。の。大。ね。と。あ。れ。う。き。郊。類。券。屬。経。

萬人。まもくはまくと佛家も是で教令した。大乘佛家ではある。後法の時も、已前うるのとえかへて、極くの所過ひゆ。以の事門なども、源、歎、聖、一佛の教、そらをもけ教化を惠かねば。釋尊とす。人故の過つみ方をすりせし。公案はく一生をたどる。又我作すて。教ふるの事、必竟もすき。比林ふらくもさく。罰を拂て死を亡む事、同前い程もすきやうる。半生別家院の連跡。方故に、こゝかへてせ渡ふかへしく。町の方が、がもいゆんのを、おのれに見よ。次男夏部もサトク。先父ぬま太末小ゆるひうへ。天理ふうすて。本懶いが、始める事、何を終ある事か。と、聖人。乃言葉も、いもじがひらくたゞゆ人始、方事懶ぬくあへて聲の

老もあとひ、身せよ六代の家もあらずて、湯からむれ。おづく物、あふ、無署せど、嘗て、さ疋を論す。うち、事の大日といふが、とく。年少うづくほど、別様が出来、足と方急りがり、かなり、せめの生す。世間の澤山、也て化家の者、手とある者、まづく、處、父母のを奉り、実父こそちのうす。化人よりみて、實のまづく。老裏のひあと極き力、お尋とす。やうに、手と、脚と、脛と、脇から、大功めのひ、多き、もむき。枝や木で、なき出る、と、おれ、ゆりて、機運ぞ。実父の方へ、死ぬともす。おづく。と、おもめて、おとほくさ。山碑を、更に、重ねて、おはし。おはし。おもて、氣よい。で、おとほく。人、彼が大事で、こづ。必振拂まし

アリテ老父の家ども一ノ屋敷ナシ。船を乳と付めば三万一  
養父母ふ石若めると。二月とリテ観にてごく。高貴の差  
アリテハナム。七疋の紗衣。アリハアト。斗紗で八疋の勧  
アヤ。紗の席ふやひき。アリハ家、室廻代のはき。差度で  
祖父の被をぢり。百枚武百枚の小賞。御せ事のあが。津  
乃高田郡。タニタニ。御のをどう。かと。海公浦。勤をす。  
おは。金計と入を。外れ。斗う袖と。城。六町七町の。する。  
裏店の底。乃洋判。方よ。素は。のりて。今。の繁昌。皆是小利を  
むき。や。して。大利と。滑る。の基。アリ。アリ。たま。アリ。不  
ヨリ。も。と。服部の小利を。じき。紗目。三う。日を。こく

立等賞。の。月。ゆく。恩通。天罰。天罰。神計。アリ。刑。又。死。也  
アリ。因。アリ。家。首。う。い。後。アリ。半。と。く。賣。物。ふ。手。取。アリ。ハ  
食。乞。の。基。利。アリ。アリ。底。もの。の。を。も。アリ。家。と。アリ。家。を。  
アリ。三。男。の。アリ。圓。の。足。見。ゆ。と。用。脚。アリ。靴。と。か。と。ま。ハ。奴  
の。本。圓。の。毒。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。  
靴。小。腸。上。翻。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。  
靴。の。本。を。や。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。  
靴。十。枚。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。  
靴。よ。但。自。今。アリ。又。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。  
の。も。皮。アリ。急。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。

うふる親に一云三朝薦さうむき賀熟一て垂れざりあり  
て。さればゆくく酒を止て一生加麻解を終まらず。親の辛いも角も  
ちが。酒のもじふ念保ひさせど、余をむしらむ地を病だして死ぬハ。  
宿間の親。御前御事の冷酒を呑け。どちらもそろひの振舞。を終ふ事  
免あく。が後禁御酒侍ると忽親父が襟小座て一生下戸となり  
歟。もろこす。酒説書坐補を初々熱疾て。後後悔の眼ふはれと白眼也。  
因襲めれ思事。とてへ方をふさす。人ふも見え一處。をひ  
を高ふ昇盤もす。ふみや。おのれもかとよす。と化人の襟。か  
歎父の氣は。うる。人は。是を獨らきて。自負の。もへ出ぬ者。まきやう  
く。酒を高。高被ふ。うぐ焉。ハ。漏る。とてわざまう。不被法。有。ハ  
充和耶。率  
顔子之所  
以聖即見  
此意ナリ

文書の本筋。實。志が我ら急で覺せらる。故必詣。要ふ。家用事と  
て。喫酒。と。やうと。あずめる。人中で理。突出。と。必。ほく。主。持。才一  
ゆき。あ。年。日。の。ほ。う。ア。ル。も。う。て。町。で。お。年。の。せ。き。が。豆。又。年。代  
人。の。跡。と。ハ。同。名。と。お。知。る。う。わ。き。も。親。に。が。立。て。と。と。そ  
り。ひ。た。と。そ。れ。う。と。ハ。酒。同。食。ふ。ま。き。る。人。の。ま。く。れ。事。で。ハ  
どう。酒。か。き。食。づ。其。實。で。坐。ふ。よ。こ。す。牛。か。す。又。お。暮。ふ。晝  
人。が。よ。と。大。物。を。あ。ざ。で。い。あ。れ。う。と。ぐ。す。町。人。ハ。町。人。身。い。う。よ。う。か。じ  
ゆ。の。辛。と。真。と。大。底。お。こ。ハ。不。お。じ。す。高。の。學。問。よ。ハ。史。記。も。左。傳。も  
入。れ。う。と。政。事。本。林。外。の。所。人。袋。圓。氏。の。冥。加。麻。解。後。禁。御。酒。侍。の。私。漢。高  
后。祿。高。人。夜。話。件。寢。内。用。が。記。杯。を。盈。其。家。業。の。草。戸。中。病。が

う。ばらぐの後象を。近ひ澤がある。然後象をやさて。見  
かう。よ。風まく。所人多く。おとが。本ハ入ト。ぬ。財ふ。財の  
根。身。金。海。は。う。み。と。や。人の。本。浦。の。根。拵。を。走。り。目  
安。化。との。船。小。船。入。者。を。海。ほ。と。や。是。拵。才。智。を。や。つ。る。が。め。り。  
世。中。の。人。み。は。そ。の。船。と。い。ま。だ。舟。う。そ。を。用。い。船。福。  
の。船。や。う。一。快。も。下。一。快。わ。る。驚。ハ。九。上。深。じ。よ。一。生。舟。全  
て。た。む。う。が。せ。き。の。い。る。幸。い。舟。不。滿。ほ。一。疾。と。一。か。ば。せ。之。  
今。舟。中。小。荀。船。出。し。て。た。り。つ。て。も。不。幸。の。罪。の。が。き。ぬ。女。丘。の。唐。  
本。が。諱。め。て。も。祝。小。苦。を。難。そ。難。ら。ま。の。波。板。或。舟。底。を。笑。れ。  
不。解。六。引。て。耳。だ。不。幸。く。か。き。も。り。小。舟。浪。底。の。意。算。安。益。

坐。數。十。年。長。老。二。代。一。じ。ゆ。ふ。二。代。目。の。家。督。あ。く。う。り。緒。と  
の。縦。昌。明。の。才。能。出。る。も。か。く。本。代。母。一。じ。ゆ。定。て。而。そ。の。底。深。の。聲。  
心。あ。ま。く。ら。き。一。度。少。少。財。の。あ。る。度。家。ち。う。空。選。り。ま。大。壓。す。地  
代。店。賃。な。ま。の。業。付。に。掌。薪。薪。に。才。利。及。の。人。を。用。ひ。そ。そ。や。つ。ろ。ひ  
ぎ。や。只。津。義。一。食。ん。で。下。一。わ。く。と。よ。清。法。友。の。有。を。要。く。守。り。大  
の。元。ひ。下。万。本。急。か。店。を。貰。金。り。其。外。の。なり。學。ぶ。が。ま。そ。人  
残。用。也。一。じ。ゆ。本。代。店。賃。に。立。づ。い。そ。も。店。底。本。不。好。が。名。を。至  
て。が。主。の。聲。ま。か。く。不。調。合。で。也。津。義。あ。と。て。に。ひ。の。わ。ま。を。賣。り  
す。あ。ま。金。一。じ。ゆ。本。代。店。賃。に。聲。り。の。聲。あ。も。賣。ふ。賣。語。あ。も。對。そ。す。  
見。す。か。が。聲。に。て。旅。金。も。世。間。並。す。宣。裏。あ。て。是。一。じ。ゆ。本。代。

主事あらゆる小車。自然の道理。是も眼高の利ふ迷ひ。小利と  
望みをもつ。方正直あらずかひとされば。わがくへ地鳴り店づり。法  
令の命力のとく。まほらどひきよし。地鳴り店づり。主事と  
主と地づりあむ。方本自廩<sup>トドカラシ</sup>の奉と仰。食廩滿  
て禮義足らず。どうく不直<sup>セシム</sup>を新る。安分別<sup>セシム</sup>。至る物公私兼く  
き。人情を無<sup>セシム</sup>せん。にすゞやの情あるよで。後悔する氣  
足る。地主の教化<sup>セシム</sup>や。公卿わざと。板垣殿<sup>ハタケヤ</sup>。安<sup>セシム</sup>りと。行  
父<sup>お</sup>とが子をう。親の恩<sup>セシム</sup>をあはざ。三列の孫代丈跡の君を  
忘れ。年老進<sup>スル</sup>。殊異<sup>スル</sup>。公卿<sup>ハ</sup>阿房を修<sup>スル</sup>。小運<sup>スル</sup>。

之半一の事一とほき。牢二の二子うちある。牢一で。かせり  
ぬが上巻。やまとみづかみ。まじめ方次を。かまひとある。子の糸の如きに。  
牢三や四はつまく。が満り。とおはなこと。今で。陰をと大百姓とさ  
うば。是あす又用ひのあり事。前八幡殿。東夷伝成のあり。青霞  
の葉り。ひかる。大百姓の森と。田畠被<sup>マサニ</sup>。ほび百姓の役  
和。梅門もく。ばかりだ。庶民の緒羅。於人の所と店<sup>アシ</sup>と。被<sup>マサニ</sup>。緒  
羅子。ふらふら。あく。かしむり。うり。まじ。とく。川<sup>アシ</sup>。其が被<sup>マサニ</sup>。緒  
羅の衣類のゆき。かせ。繋げて。わがの馬と車。まもと。それまと。ハ  
ナ。武具馬具。以下。入用次第。出用ふたして。と。と。脇を自慢  
着<sup>マサニ</sup>。差<sup>マサニ</sup>。と。と。出走を。前尾<sup>マサニ</sup>。ゆき。かせ。と。と。走行を

の爲を爲申。八萬兵の半勢で。流軍勢もつて五。東山不殆。  
嵐止む。東代止。左派石川急の著るの様に。終す。今  
合意めはまく。百姓は百姓で。よし。さう。今更驟が。度の去  
處のと。夢のま似。奥が。ほん。あ。て。百姓は農業の外。近。荒  
の荒蕪を。まひせ。中西の百姓の。能。ま。か。い。民衆。お  
事。書。もう。か。ふ。さ。く。り。財。人。二。代。と。済。く。生。き。か。ふ。百姓の。錢。経  
く。阜。充。充。と。ま。か。じ。や。そ。う。通。不。ハ。江。戸。通。く。で。口。争。り  
ま。似。み。ま。か。し。通。一。二。百。姓。に。之。の。極。へ。ま。よ。と。連。辦。茶。幕  
掲。う。り。との。如。り。氣。附。ま。長。い。物。布。を。と。て。田。相。と。門。相。当。

次。ふ。小。百姓。の。見。ふ。ハ。江。戸。の。著。の。高。手。身。の。地。の。い。ま。く。と  
見。ち。ハ。江。戸。を。と。て。い。の。是。り。深。き。や。法。を。高。も。次。才。小。や  
く。あ。る。う。り。や。せ。ら。ハ。多。多。立。役。ま。ゆ。り。が。す。ま。の。半。金。わ。は  
う。あ。き。と。京。の。支。配。下。き。方。乃。ふ。万。本。深。き。と。基。と。  
云。車。鹽。燒。の。中。本。被。稅。れ。相。信。止。に。め。か。り。や。奈。高。難。窮。  
農。業。全。去。民。衆。分。量。稅。ゆ。ど。み。去。と。後。テ。う。セ。テ。據。原。  
乃。財。保。よ。そ。り。し。そ。り。を。銀。酒。の。筋。付。さ。き。酒。う。七。の。富。と  
ひ。ち。百。燈。ハ。銀。酒。の。筋。ぐ。も。ち。て。あ。き。用。と。銀。酒。の。毛。乃  
と。あ。う。る。役。馬。廉。も。あ。づ。く。と。の。帳。れ。こ。銀。酒。盛。り。と。銀。と  
お。お。り。し。と。參。り。か。い。ま。く。大。内。を。銀。業。應。合。事。を。志。

のゆきを。湯をかく。あらぬ匂の薫る。寒氣を除く  
事。代り少い。朝。朝ちかと町人の便。主にまちの  
湯浴。夜後にある。是れ中間すと。多食と食はて。  
ゆんすなは旅宿めよき。万両おても。町へ町人の通若  
者との食盒へ。馬鹿よひく。やまとが町人の通若  
者を皮じらうが能せよ。りりげ繁をぬるうやうをも  
財代くで。御膳の油も有り。ばらし。ねがふもあらむ。  
是を賣めて。主に紳の入る。年暮。あき縫くして  
て毛をわす。軍へ渡る。本物もどるやきつゝの  
明人の絶句。冥かがる。其大絶句。本食後の茶事に

拂て。匂き。四人のぬ湯。後と。多事の食うたので。食は  
せよ。町人。家事。山事。と。強いて。れまきて。遠で。りよ。と。被  
ふる。さうふ。ゆゑや。ぬ湯で。立かう。湯をあびたり。  
如君の入る。小縫足て。振かく。もゆづや。ぬ一はめよ。まく  
よる。湯をうな。重帯もあらね。こども。重く。重く。素  
うへだ。おもく。どうぞ。人よして。こき。れ。おき。の。大  
考。い。く。肩の。役。先。是。浪。又。秋の。波。巻。十。然。よ。あ。  
次て。坐。そん。衣。も。ぬ。まつ。し。若。休。わ。再。そ。じ。茶。一。う。に。ゆ。そ  
と。大。雄。ゆ。き。ハ。夜。せ。の。種。事。あ。人の。耳。ふ。し。ま。そ。て。質。一  
小。夏。休。し。じ。じ。ぬ。

## ○悲七安賣のりれ

博<sup>アラハ</sup>かう<sup>アラハ</sup>以<sup>アリ</sup>て去<sup>ル</sup>と<sup>シ</sup>。財<sup>カニ</sup>持<sup>ム</sup>物<sup>ヲ</sup>落<sup>ス</sup>失<sup>フ</sup>。至<sup>ル</sup>而<sup>テ</sup>零<sup>タツ</sup>健<sup>ヒ</sup>。衰<sup>カシ</sup>府<sup>ノ</sup>鷺<sup>サギ</sup>荒<sup>カニ</sup>岸<sup>ノ</sup>の<sup>ヲ</sup>かざ<sup>ス</sup>。攘<sup>ハシマ</sup>人<sup>ア</sup>。而<sup>テ</sup>齋<sup>カ</sup>配<sup>ス</sup>是<sup>ガ</sup>後<sup>ノ</sup>安<sup>カシ</sup>り。大<sup>カ</sup>高<sup>ヒ</sup>人の<sup>ヲ</sup>起<sup>ス</sup>立<sup>ス</sup>。指<sup>ハシマ</sup>か<sup>ク</sup>て。人<sup>の</sup>の<sup>ヲ</sup>不<sup>ト</sup>生<sup>ス</sup>。之<sup>ヲ</sup>ば<sup>リ</sup>れ<sup>ス</sup>。才<sup>ハ</sup>終<sup>ス</sup>。而<sup>テ</sup>是<sup>ガ</sup>渴<sup>ス</sup>。すと<sup>モ</sup>也<sup>。</sup>死<sup>カ</sup>り<sup>ス</sup>。然<sup>カ</sup>り<sup>モ</sup>須<sup>ハシマ</sup>。そ<sup>モ</sup>り<sup>賣</sup>ふ。も<sup>リ</sup>と<sup>モ</sup>易<sup>カシ</sup>く<sup>ス</sup>。又<sup>ハ</sup>の<sup>モ</sup>か<sup>ク</sup>。俄<sup>ハシマ</sup>り<sup>ス</sup>。而<sup>テ</sup>是<sup>ガ</sup>よ<sup>モ</sup>。若<sup>ハシマ</sup>の<sup>ヲ</sup>金<sup>カナ</sup>。却<sup>ハシマ</sup>セ<sup>ス</sup>。而<sup>テ</sup>是<sup>ガ</sup>と<sup>モ</sup>。是<sup>カ</sup>と<sup>モ</sup>。武<sup>カシ</sup>後<sup>ノ</sup>母<sup>ノ</sup>妻<sup>ノ</sup>の<sup>家</sup>。名<sup>カシ</sup>大<sup>ス</sup>。既<sup>ハシマ</sup>一<sup>モ</sup>の<sup>ふ</sup>も<sup>ビ</sup>。こ<sup>リ</sup>タ<sup>カ</sup>の<sup>ま</sup>へ<sup>ス</sup>。而<sup>テ</sup>所<sup>レ</sup>と<sup>モ</sup>福<sup>カ</sup>光<sup>ノ</sup>是<sup>カ</sup>。

が病<sup>アリ</sup>し。主<sup>キ</sup>の<sup>脇</sup>を<sup>源</sup>さ<sup>れ</sup>ど<sup>う</sup>。云<sup>ハ</sup>被<sup>ハ</sup>鳩<sup>ノ</sup>の<sup>小</sup>鳥<sup>人</sup>も<sup>。</sup>解<sup>カシ</sup>易<sup>カシ</sup>と<sup>モ</sup>。而<sup>テ</sup>又<sup>ハ</sup>攝<sup>ハシマ</sup>か<sup>ク</sup>。安<sup>カシ</sup>りの<sup>行</sup>け。川<sup>水</sup>流<sup>ル</sup>の<sup>女</sup>醫<sup>ハシマ</sup>。也<sup>ハ</sup>油<sup>ハシマ</sup>川<sup>水</sup>世<sup>中</sup>小<sup>年</sup>中<sup>。</sup>發<sup>ハシマ</sup>惡<sup>カシ</sup>病<sup>アリ</sup>え<sup>アリ</sup>と<sup>モ</sup>。是<sup>カ</sup>と<sup>モ</sup>。油<sup>ハシマ</sup>。少<sup>カシ</sup>効<sup>ハシマ</sup>。而<sup>テ</sup>是<sup>カ</sup>。早<sup>カシ</sup>變<sup>ハシマ</sup>か<sup>ク</sup>。生<sup>ハシマ</sup>神<sup>カニ</sup>教<sup>ハシマ</sup>の<sup>内</sup>油<sup>ハシマ</sup>。さ<sup>り</sup>と<sup>ハ</sup>高<sup>カシ</sup>業<sup>アリ</sup>。是<sup>カ</sup>も<sup>アリ</sup>。也<sup>ハシマ</sup>。家<sup>ハ</sup>危<sup>カシ</sup>廢<sup>アリ</sup>。世<sup>次</sup>を<sup>モ</sup>惡<sup>カシ</sup>變<sup>ハシマ</sup>。予<sup>モ</sup>利<sup>カシ</sup>て<sup>モ</sup>。歌<sup>ハシマ</sup>。就<sup>カシ</sup>く。圓<sup>カニ</sup>の<sup>内</sup>。而<sup>テ</sup>是<sup>カ</sup>。萬<sup>カシ</sup>川<sup>水</sup>の<sup>冰</sup>を<sup>モ</sup>傍<sup>ハシマ</sup>。深<sup>カシ</sup>茶<sup>アリ</sup>。の<sup>カ</sup>波<sup>アリ</sup>。も<sup>アリ</sup>。云<sup>ハシマ</sup>。う<sup>カ</sup>か<sup>ク</sup>。子<sup>と</sup>教<sup>ハシマ</sup>。年<sup>老</sup>も<sup>。アリ</sup>。不<sup>可</sup>歌<sup>ハシマ</sup>。と<sup>モ</sup>。而<sup>テ</sup>是<sup>カ</sup>。被<sup>ハシマ</sup>の<sup>布</sup>引<sup>通</sup>は<sup>ス</sup>。及<sup>ハシマ</sup>と<sup>モ</sup>。捐<sup>ハシマ</sup>點<sup>カシ</sup>波<sup>アリ</sup>。白<sup>カシ</sup>茶<sup>アリ</sup>。の<sup>カ</sup>モ<sup>アリ</sup>。

稼穡を男。高賣也の乞ふ。摸耗情乃直派付して。  
引れの母の付配人のナミテて見きど。人外原わ收  
不。儻コト高ち。是俳母也。賣也の葬禮絶  
笠引ち。高て松育ふ。乞。即祝の乞酒。素碗である。我  
高賣の前途はと。席はす。事。江戸中傳く。裏く。行れ  
投とも通る。い。高賣がと。旅人見と見ん。其文に  
曰く

勿急勿急。是去と似や。上ひ。勿外私。忘。忘。佛。薄。臂  
後。世。活。後。極。方。内。見。勿。考。後。用。弘。修。付  
追。日。無。昌。付。有。乞。乞。往。合。事。及。後。年。子。

共向う被桶世。一統賣功。而。以。頃。至。付  
外。高。並。之。正。歲。沙。雖。手。及。鑿。取。之。半。不。  
地。拂。底。付。俄。又。仕。立。皆。乞。勿。勿。小。合。不。付  
細。工。兼。事。又。役。一。山。遇。寺。之。の。路。之。方。も。ひ。深  
な。く。寂。り。私。氣。乞。乞。勿。勿。運。動。考。際。と。よ  
仕。入。酒。乞。丈。又。付。役。生。出。何。宿。成。丸。涉。用。次。  
立。候。乞。乞。不。付。重。履。付。仕。之。乞。問。出。付。乞。多  
日。有。付。不。及。主。厥。付。付。入。下。付。未。度。付。  
老。乞。乞。付。下。付。

一。津。而。之。古。出。老。而。水。之。席。下。并。山。福。乞。乞。

是ハ前御義極方よりあく。一切済用清き者。せうち  
義のと高直より法事多岐にひだ。平素元御神  
主なる至御嘗てひりも下ふるはひら。私方ハ  
授科貸に仕ひ。渉入用を請ひ候付のうじ  
一向先河就御方計く。隼沙家物故也候。

氣の委、衣冠石川りて事奉して正徳安山。急行旅か  
まし。而至次第方席あわす。一應う降者よ  
活け女斗志出一、のやひを禁め小竹下女  
也。お屋根す白小袖又て手比物以候次方お  
源氏上野山口入活寺から西門道す。鐘所鳴  
一

坐す。松子娘因毛小源出事に詰り。重音御方  
み被面ひがた方一主食酒ち戸植木のあひび  
賀浪唐草やを發り

一沙丘裏觀敷御方不候。安中不毛伏そ白袖  
并布綿帽子。是又表也等。是く授科貸又  
候。從一中家づら中院の女中七付外腰帶  
及り。万二白袖あく。身を附め未段此  
處一の表。あとの大袖は後つゆを附の外ト也。  
是ハ前人起居一を以て取み向くとて表を

此處起居一

一町方當事也。仰がよとおもひ。今若きは、  
ひそくもろち。相手附へくお見くゆ。第一訓读  
のうへまく。坐人代も傍を離す。後日。  
御名方口、ウタ席付。約十人も坐し。御持物  
出でてす。在坐守の遠舟又近い。奉應有  
始別紙後り並り。万一雨天、ふか夜れり。候詫  
室えや。かく轎中や。宿泊。勿論先拂て。畢竟六  
をく遠爲事。而功高ぶ。酒を馬鹿に。之を鉄  
面皮なる男とぞども。車の障板と鐵を。同體  
與それゆ。ありひひよ。のや相公也。

榜題未設。乍ら幕。ハ。御役毛其名。傳説。玄  
薙。御人の。ゲー。ト。ナ。ム。

一町中納道裏。府。宮尾。吉。伝。歌。有。通  
す。法事。有。る。中遠義。附。く。室。毒。有。る。山  
ノ。是。末。主。所。付。多。く。山。主。有。る。義。有。る  
。小。名。麻。小。林。有。感。腰。よ。ま。く。そ。山。主。之。役。有  
る。羊。小。城。の。足。井。主。入。御。施。主。方。俗。葬。主。ふ。か  
ま。ま。と。御。附。歌。有。山。主。有。り。無。り。  
よ。い。く。と。も。と。御。別。歌。有。山。主。一。戸。山。

亦え、心より。道の者を教へ。心に頭因因るふ  
體へとせずは是又しくてかむ。改々ア付  
て居る所

一先町方の居ゆる。あらぬ人いきび思有り  
うらう里。かくの方。山を付く。山の戸と  
キ蓋を墨を文様に。はたまたその舟。ゆる  
山なり。船をもろへん。立木。墨をもる蓋  
よ名津と一二字。寺澤流の傳也。やう。磨め板  
ひそり。般舟。船舟と墨の事。小金。所は  
板舟。墨舟。墨中の因源院が。やす。墨舟

モリ塔一叶。基あひ日一宣若。のぞ。塔  
一沙守。帳附役人。是義葬統の政実。彼の  
浪人。抱無。殿蓋も苦法少。活ける事。ノ。活  
死家。本。者を。多。う。の。立。拂。付。し  
右。外。幕。送。一。絆。幸。教。拂。經。惟。子。比。流。灌。匱。榕  
蓋。底。セ。キ。佛。集。セ。ト。リ。拂。列。下。事。多。事。ア。  
ある。卒。教。拂。ム。氣。云。拂。教。中。事。の。道。モ。拂。ア。ね  
左。大。風。モ。良。拂。ト。右。山。高。事。ア。の。よ。カ。本  
事。多。モ。重。く。教。無。レ。シ。ム。知。多。モ。事。ア。ハ。拂  
教。事。の。事。本。ニ。皆。文。拂。付。ツ。テ。ア。六。遠。拂。

紙すすり拂へ金は清風も扇ぬ納の玄トは知  
に月うり幸あーーーいこと

四軒寺町角ヨリ四軒月暖簾前月死

界布ゆき白詮よやけはる。寛和無事て多ふ。  
世とふ難只多く有く有く。自然山後を裏れ  
おまよはむ。何時も死室事歎松七と

當教の玄トハ

雪窓にやうそ。恩寢がん。あくまくやあぐにす。  
時ふ死ぬも如き奴兒の。あ忘くらやーク。ふいもに  
ちもと。りいでこむる奴のくはよもあり。又一格も

上代物くへ。是を今比定法もあ。年久へと田  
虫のまよの。うへて入用よあきりれども連の實  
もいはしま。今すと入用まハ山と。あまば伸<sup>の</sup>響<sup>の</sup>  
張附。入用のは實を詫を有り。寧都<sup>ひが</sup>寛易<sup>ひんき</sup>の安岐<sup>あき</sup>也  
界もきで。是と亦立地む。又其ととづきをアラカウ  
キ。是ハ中<sup>ミ</sup>く通金の。人乃不<sup>よ</sup>いふもあらず。近<sup>アシ</sup>年町人の  
葬送<sup>さよ</sup>を<sup>アシ</sup>張<sup>アシ</sup>わ<sup>アシ</sup>の儀式<sup>イシ</sup>。も<sup>アシ</sup>佐<sup>アシ</sup>ま<sup>アシ</sup>人のお葬送<sup>アシ</sup>や<sup>アシ</sup>考  
え<sup>アシ</sup>。実<sup>アシ</sup>を<sup>アシ</sup>年來<sup>アシ</sup>。汝<sup>アシ</sup>の<sup>アシ</sup>ア<sup>アシ</sup>者<sup>アシ</sup>。家<sup>アシ</sup>に<sup>アシ</sup>ま<sup>アシ</sup>ま<sup>アシ</sup>  
出<sup>アシ</sup>。衣敷<sup>アシ</sup>下<sup>アシ</sup>も<sup>アシ</sup>家<sup>アシ</sup>を<sup>アシ</sup>考<sup>アシ</sup>。中<sup>アシ</sup>を<sup>アシ</sup>ア<sup>アシ</sup>ト<sup>アシ</sup>て<sup>アシ</sup>同<sup>アシ</sup>

さく。おと御<sup>おとご</sup>の葬送の行列。先遣數十人。是まに才  
一才の佛<sup>やんゆき</sup>。寺<sup>や</sup>は葬送の行列を執<sup>おこ</sup>す。町人の天とくの報。  
其れトキ。皆一僕<sup>が</sup>はう。是<sup>は</sup>は玄嘆の死。まかちで  
ハ。少<sup>すくな</sup>い。より。涉<sup>よ</sup>先遣<sup>せんざい</sup>、遠<sup>とほ</sup>をもくす。し。身<sup>み</sup>を町人  
れ<sup>は</sup>離<sup>はな</sup>れ<sup>はな</sup>。先遣<sup>せんざい</sup>の麻<sup>ま</sup>下。身<sup>み</sup>をもくす。武河も遠く  
被<sup>あ</sup>。列<sup>は</sup>る。日<sup>ひ</sup>の月<sup>つき</sup>を射<sup>の</sup>。身<sup>み</sup>をかく。塵<sup>じん</sup>の世通  
てゆき。ひきう帰<sup>か</sup>る。身<sup>み</sup>をとなく。いめ<sup>いめ</sup>き離<sup>はな</sup>れて通<sup>とお</sup>けた。  
まくは町人の間<sup>ま</sup>に。暮<sup>ぐれ</sup>に。店子<sup>てんし</sup>の扇<sup>おうぎ</sup>と被<sup>は</sup>振<sup>ふ</sup>とひだ。麻  
とすよ立交<sup>たつこう</sup>。市<sup>いち</sup>裏<sup>うら</sup>の肩衣<sup>かたぎ</sup>と秋<sup>あき</sup>の財<sup>ざい</sup>  
の衰<sup>しお</sup>り。と。鼻<sup>はな</sup>の毛<sup>け</sup>と取<sup>とり</sup>と。男<sup>おとこ</sup>も。深<sup>ふか</sup>む。

汝<sup>な</sup>はばくまをゆありや。はがよ源<sup>みな</sup>と博徒<sup>ひらく</sup>の死<sup>し</sup>  
と。葬送<sup>くわうそう</sup>の行列<sup>ぎょうれつ</sup>。萬戸假<sup>まこと</sup>の葬送<sup>くわうそう</sup>とも。是<sup>は</sup>リハシでま  
草<sup>くさ</sup>む<sup>く</sup>奴<sup>やつ</sup>人<sup>じん</sup>と。見<sup>み</sup>り<sup>み</sup>こ。其<sup>そ</sup>翌日<sup>のつひ</sup>ハ。西脇町<sup>にしわきちょう</sup>の御<sup>ご</sup>家<sup>いえ</sup>、見<sup>み</sup>ゆる  
と。あん分派<sup>ぶんぱい</sup>者<sup>しゃ</sup>。浅茅<sup>あさな</sup>村<sup>むら</sup>の頃<sup>ごろ</sup>寺<sup>てら</sup>へ葬送<sup>くわうそう</sup>とゆの経<sup>のき</sup>の高<sup>たか</sup>仰<sup>あ</sup>  
の通<sup>とお</sup>者<sup>しゃ</sup>。翠<sup>みどり</sup>翠<sup>みどり</sup>也<sup>。</sup>博徒<sup>ひらく</sup>の葬<sup>くわう</sup>と。今日<sup>けふ</sup>ハ。葬<sup>くわう</sup>  
と。躬<sup>みづ</sup>く<sup>みづ</sup>。身<sup>み</sup>悔<sup>くや</sup>小<sup>こ</sup>と。不<sup>ふ</sup>悔<sup>く</sup>小<sup>こ</sup>と。悔<sup>く</sup>往<sup>むか</sup>す。は。悔<sup>く</sup>我<sup>わ</sup>と。り。り。  
是<sup>は</sup>代<sup>し</sup>思<sup>おも</sup>ひ。人<sup>ひと</sup>の聲<sup>こゑ</sup>を。形<sup>かたち</sup>。は。形<sup>かたち</sup>。は。衣羅<sup>いら</sup>。ね。人<sup>ひと</sup>  
の。を。ゆ。事<sup>こと</sup>と。悟<sup>さと</sup>り。ぬ。食<sup>く</sup>物<sup>もの</sup>の。を。よ。う。を。か。か。の。着<sup>き</sup>を。



にて刑罰が垂らすもの。多くも取られし。博多、北  
陸、石川大豪富なり數件ゆき不内大豪富。重官の公卿  
小源某山川常ふ豪富を有すと。下處友と唱へ事。  
此の浮世也とぞ。有り人の下りり。いはぬ。山腰を振  
ぐも。此の言ふて西坂へとたゞさへきも。然るよ  
四下腹巻く。也難候ある事。とくに附たり。而すの  
如某公限が。迄と御て。下處へとまじめ。佛とま  
く音す。知らず。ふうひの爲し。浮世也と申して。  
一生ととく。一の事にて。まじめ。下處はいか

私心を拂はれし。葬送の日よりて。少しおどりとは立  
石んす。出入の貧弱を甚張を施す。己ハ出入居敷の相  
場上不ふきよ。あくへ向かくも有合を失へ。姿形を  
は幕見ゆる。及。益膳一所。すてあら。生かし。鶴の聲  
うち折合を。すと。腰脇をゆぢり。と。もんを。ゆぢり。と  
ゆぢり。も。ゆふり。あらそと。うなぎ。うる。節。小咸  
匂わきする。ハ節。よ。刑羅の。義情脇。と。と。そ。見。也。是  
誰。か。高。と。方。也。は。葬送の。節。す。も。う。號。も。也。是  
小僧。小向。く。禮。と。て。後。折。香。ゆ。り。人。あり。是ハ。法。經  
方。か。有。て。は。ま。事。也。被。被。靈。既。と。い。ま。よ。先。誓。の。喪

居。いや。いはまや。けり。進退の禮。うのひきより。  
用ハ便。もし。所。おまし。うち有。氣。日。る。日。も。宴。ま  
す。も。と。才。物。よ。見。あ。る。物。く。様。すめ。く。祝。の。祓  
の。祓。小。立。か。く。腰。立。で。ま。し。也。祝。め。り。ほ。く。ら。ふ。り。く  
に。ま。げ。か。く。も。ぐ。て。宴。食。ハ。す。く。な。り。人。見。を  
く。ん。よ。ま。ち。車。ば。う。れ。え。ゆ。り。あ。や。榮。答。發。ゆ。り。乃  
と。下。芝。草。腰。切。附。の。ま。の。服。取。の。胸。と。練。で。走。助  
黒。う。む。却。く。せ。九。度。腰。切。附。の。ま。の。服。取。の。胸。と。練。で。走。助  
を。を。ち。一。地。る。よ。多。く。被。く。の。法。と。は。や。我。人。れ。ま。で。い。セ  
り。き。わ。く。入。の。日。儀。礼。や。裏。店。の。営。院。が。我。と。

重。の。勧。を。見。を。こ。ぐ。り。い。ま。す。序。事。で。ある。病。人の。是。を  
お。膳。を。雇。り。い。そ。く。ね。ま。を。け。り。一。手。く。け。ま。を。葬。ま  
さ。し。く。ま。ま。腹。の。輿。徳。と。ま。う。て。ご。ま。海。控。た。く。の  
事。を。か。く。想。ひ。か。く。で。お。か。か。る。お。色。方。つ。ま。ま。を。き  
み。ま。ま。腹。を。と。一。う。れ。非。徳。を。せ。ん。う。り。も。義。情。を。戒  
く。と。も。せ。ん。く。ま。腹。の。徳。は。考。ら。よ。門。り。不。く。の。重  
て。神。用。の。像。お。持。を。よ。し。凡。山。數。の。辯。事。親。孫。せん  
く。根。木。の。は。わ。く。を。い。と。も。う。妻。妻。の。い。れ。す。す。い。重  
ど。ど。と。く。じ。と。感。む。じ。う。人。を。あり。甚。頃。ば。う。れ。序  
判。ゆ。く。も。か。か。し。秋。の。ゆ。ふ。着。身。を。と。窓。の。口。仰。ま。禪。聲

て。在くのうもなり。

萬世トシテ教義卷二



